

# ROTARY WEEKLY

HIROSHIMA KUKU ROTARY CLUB WEEKLY



## 広島空港ロータリークラブ週報

会長 松本邦雄 / 副会長 橋濱智美 / 幹事 佐々木正親 / SAA 鶴田秀樹

2017年5月10日発行

事務所 〒729-0417 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会内2F

TEL 0848-86-0986・FAX 0848-86-0992・E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp・http://hiroshima-kuko-rotary.jp/

例会場 〒729-0416 三原市本郷町善入寺64-25 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111 FAX 0848-86-9222

MEY 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

休会

例会

例会 (フォレストヒルズガーデン)

例会

### 本日のプログラム (5月10日)

桑木良典 様

「広島空港民営化に向けた現状と県政の動き」

### 次回のプログラム (5月17日)

例会場 フォレストヒルズガーデン

「今年度活動報告・引継事項」

## 第1072回 2017年4月26日 例会記録

点 鐘…松本会長

ソング…「我等の生業」

### ビジター紹介

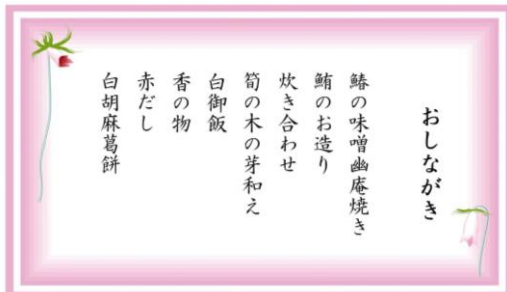
(西 条)平賀弥泉さん (三 原)上田嘉信さん

(東広島)有村健二さん (東広島21)村瀬施蓉さん

### 出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本 日 (4/26)	27 1	21	3	3	88.89
メイク	灰谷・三好・重森				
前々回 (4/12)	27 1	14	4	9	66.67
メイク	灰谷・楠部・鶴田幸彦・熊谷				

### 食 事 時 間



### 会 長 時 間



4月16日には沼田川クリーンキャンペーン大変お疲れ様でした。私は参加できなかったのですが子供さん、お孫さんも一緒にゴミ拾いをしてくださったようでありありがとうございました。

4月23日(日)には地区協議会もあり、しっかり勉強してきていただいたと思います。後程卓話の時間にご報告をお願いします。

次年度の地区補助金も申請し承認されたようですが、財団寄付についても次の様に依頼がございました。

2017-18年度 ガバナー寄付目標について、ご協力をお願いいたします。

年次基金 150ドル以上/1人 ポリオプラス 35ドル以上/1人

ベネファクター-1人以上/クラブ、または恒久基金への寄付 1,000ドル以上/クラブ

これは次年度会長さんのご意向もあるかと存じますので役員の皆様でご検討いただきたいと思います。

### 幹 事 報 告

《お知らせ》5月17日(水)の例会は、会場がフォレストヒルズガーデンとなりますのでお間違えの無いようにお願いします。

《配 布 物》週報1070. 1071号・4月定例理事会報告

《回 覧》ロータリー財団100周年記念シンポジウム新聞記事(2016.11.27JPタワーホール(東京))

竹原市民講座のご案内

日時 2017年5月27日(土)13:30~

#### 4クラブ親睦ゴルフコンペ組合表

日時 2017年5月14日(日)8:30~  
第27回日本ロータリー親睦ゴルフ  
北海道大会のご案内

日時 2017年6月23日(金)  
沼田川クリーンキャンペーンごお礼  
IMお礼

日本のロータリー100周年委員会設立趣意書  
とよの郷 ふれあいマーケットの案内  
日時 2017年5月14日(日)10:30~  
総合技術高校安原敏光校長人事異動の  
ため三次高等学校へお礼ご挨拶  
赤十字NEWS4月号

### 卓 話 時 間

## 2017-18年度地区研修・協議会報告



日時 2017年4月23日(日)

12:30~13:00 登録受付  
13:00~16:45 合同本会議・分科会  
17:15~18:45 懇親会

場所 [会議] 広島国際会議場  
[懇親会] ホテルグランヴィア広島

### 会長・幹事部門 乗越次年度会長

新年度皆様方のご協力を  
いただく中で与えられたポ  
ジションをしっかりとこな  
していければと思いますの  
でよろしく願いいたします。



2017-18年度会長 イアン・ライズリー  
Sandringham ロータリークラブ  
(オーストラリアビクトリア州)  
公認会計士

2017-18年度RI会長テーマ

**ROTARY: MAKING A DIFFERENCE**

「ロータリー:変化をもたらす」

### クラブのサポートと強化

- ① クラブの戦略計画の更新又は立案
- ② 会員数の純増
- ③ 女性会員や40歳未満の会員の純増
- ④ 例会以外の活動に会員が参加

当クラブも会員30名を目標に会員増強に取り組んでいます。引き続き上記の事も含めてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

### 人道的奉仕の重点化と増加

- ① ポリオ撲滅への支援
- ② 補助金の活用
- ③ 環境に焦点を当てたプロジェクトの実施
- ④ ロータリー間の連携によるプロジェクトの実施

③については、過去にもあったそうですが、ロータリーアン1本植樹をしようという話もありました。

### 公共イメージと認知度の向上

- ① 地元や世界に変化をもたらすクラブの活動について魅力あるストーリーを伝える。
- ② 地元の職業人、市民団体、ロータリー学友のための交流会開催
- ③ 1つ又は複数の企業、政府機関、非政府団体と連携し協力する。

いろんなツールを使ってロータリーのPRをしっかりとやっていくという事でありませう。



2017-18年度  
地区ガバナー信条及び地区運営方針

### 基本的目標

「ロータリーの元気は地域の元気」

### ガバナー信条

「時代の変化の先頭に立とう!!」

ロータリーの心で地域の創生を!!」



我々一人ひとりがそれぞれの地域でしっかり活躍することが地域の元気に繋がると言われております。当クラブにおいても今日まで先輩諸氏がそれぞれの立場でクラブの運営をされ、それぞれの地域で職業奉仕も含め取り組んでおられる成果と結果が今日あると思っていますので、後戻りすることなく汚すことなく頑張っていこうと心新たに新年度を迎えたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。ご報告といたします。

### 会長・幹事部門 河井次年度幹事

#### 基調講演

岩国短期大学 山縣明人氏

新たな時代の波頭を越える  
ロータリークラブの  
社会的使命と実践



### 戦後のロータリークラブの活力とは何か

- ▶ 敗戦国として新しいスタートをした日本において、戦勝国のロータリークラブを再開した決意とは何でしょうか。
- ▶ 新しい世界観の中で、より以上の国家として再興していこうという気概に満ちていたと拝察します。
- ▶ しかも、バージ（公職追放）によって若い世代が社会の中心となる中で、ロータリークラブのメンバーも若い世代によって希望と社会的使命に燃えていたはず。真の意味での友愛が育まれたと考えます。

- ・戦時中ロータリークラブはどうしたのですか？と講師の方が広島RC次年度会長さんに質問され、「戦時中はアメリカ発祥のロータリークラブなので、ロータリーという名前は伏せて火曜会という名前で定期的にされていたそうです。」とお話されていました。
- ・ステータスを求めるロータリアンではダメ、年金生活者も気軽に入れるロータリークラブを是非作ってくださいというお話もありました。
- ・My Rotary登録者（当クラブ6名）まだ登録されていない方はよろしくお願ひします。

### クラブ管理運営部 佐々木次年度クラブ管理運営委員長

#### 基本方針

- ① ロータリークラブ定款、ロータリークラブ細則の改正などの支援（2016年規定審議会の決定事項に関する対応の相談）
- ② 戦略計画の更新または策定
- ③ 魅力ある例会作りの支援、食事、卓話の見直し（早朝例会、夜間例会など）



- ④ 出席率向上の対策検討（メーキャップ活用、出席委員会、新入会員対策）
- ⑤ 退会防止の対策検討（同好会の充実、炉端会合の活用）

クラブ運営に自主性、柔軟性導入を図ることで、独創的で魅力あるクラブづくりにつなげる好機になるかもしれません。柔軟性導入はクラブ自主性を拡大する反面、それに伴う責任の負荷があることも忘れてはならない。広島空港ロータリークラブにあったクラブ戦略計画を策定、更新する必要がある。

### 公共イメージ部門 鶴田秀樹次年度広報委員長

#### 基本方針

- ① 地区並びにクラブが地域社会に対するインパクトと価値の効果的な広報
- ② ITの活用促進、地区、クラブのホームページ充実ウェブサイトの積極的活用
- ③ 地区とクラブ並びにクラブ間のネットワークづくりの推進
- ④ ロータリーの友精読促進、投稿推進
- ⑤ ガバナー月信の充実



光RC35周年記念事業の事例紹介。

創立昭和57年1月で、現在会員数47名。

国際ロータリー第2710地区3か年戦略計画「がん予防普及推進」にそって、山口県光市と連携をし、「もっと知ってほしい、乳がんのこと」と、題して市民セミナーを開催。最初にしこりがある乳がん検診の触診方法を学べる乳がん触診モデルを市に贈呈、医師や乳がん患者の体験談等公演を行い、約100人の参加があったそうです。

山口県光市は、人口52,000人余りの町で、3つの宣言都市として掲げています。「自然敬愛都市宣言」、「安全安心都市宣言」、「おっぴい都市宣言」として、町で普及促進をしているとの事、毎年、8月には「おっぴいまつり」を開催し、今年で27回目を迎え、例年約3,000人余りの集客でにぎわっているようです。

岩国中央RC 宮本さんが、1953年1月に創刊されて、64年あまりにも続くロータリーの友について、発表されました。「各クラブの行事を記載されるように」という内容でした。

最後に、東パストガバナーの講評として、RC独自で行事を開催するのではなく、公共や、他の団体と連携をして行うのが大事との事。

マイロータリーの登録推進についても語られました。

## 奉仕プロジェクト部門

### 鶴田幸彦次年度奉仕プロジェクト委員長

#### 事例発表

国際奉仕活動は、広島西南RCが行った「政局不安定なカンボジア孤児の収容施設建設」についてでした。台北の姉妹クラブと共同事業で、今後も継続支援として3年間で150万円の教育支援を行っていくそうです。



職業奉仕活動は、徳山セントラルRCが行った「地元小学校出前講座」の事例発表でした。これは、クラブメンバーの職業に応じ、信号機の設置工事や長さ100メートルに及ぶ船舶の自動車運搬船乗船事業を行って、子どもたちに学校の事業だけでは知りえない体験学習をされていました。

社会奉仕活動の事例発表として、メンバー7名の吉舎RCが行った「ホテルの里プロジェクトと公園・城跡歩道整備」でした。地元の環境保全を含め、ホテルの生息できる川づくりに励み、他の地域から多くの人を呼び込もうとする「村おこし」的な事業でした。

本年2月に行われた2710地区奉仕プロジェクトアンケート結果では、それぞれのRCの有意義な楽しい活気ある活動が現れていたようです。

最後に、前田パストガバナーから講評があり、「ロータリーの基本理念である『四つのテスト』と『行動規範』をもとに試行錯誤しながら各クラブで戦略計画を立てて奉仕活動をおこなってほしい。また、ロータリーの奉仕と公共イメージの向上、会員増強は、一体的なものであり、複合的に考えてクラブの活性化に努めてほしい。」とのことでした。

我が広島空港RCもブルキナファソ支援でメンバーがひとつになった数年前以降、奉仕活動ではマンネリ化している感がありますので、無理することなく何か新しい奉仕プロジェクトを考え、実践していきたいものです。

### ロータリー財団部門 熊谷次年度財団委員長

#### 1. ロータリー財団の日本の年間寄付目標

- ① 年次基金  
1人当たり150ドル
- ② ポリオプラス基金  
1人当たり30ドル
- ③ 恒久基金 各クラブで1名増  
(ベネファクターまたは遺贈友の会会員)



#### 2. 藤中年度の財団年間寄付目標

- ① 年次基金 一人当たり150ドル
- ② ポリオプラス基金 一人当たり35ドル
- ③ 恒久基金 各クラブで1,000ドル

#### 3. 寄付の使途

- ① 年次寄付 3年後に使用・・・A
- ② 恒久基金 元本の取り崩しはしないで運用益のみ・・・B
- ③ 使途指定寄付 ポリオプラス基金等で指定された使途だけに使用
- ④ 寄付の使途  
A+Bの合計を、DDFに50%とWFに50%

#### 4. 使途の例

- ① グローバル奨学生  
4名出席し、自己紹介がありました。
- ② 奨学生の内訳  
3名がWFを利用、1名がDDFを利用
- ③ 留学先大学院  
USA1名、イギリス2名、スウェーデン1名
- ④ 奨学生の要件  
(1) 専攻分野が6つの重点分野の1つである(WF利用) DDFにはこの要件は無い  
(2) 大学の課程を2年以上終了している  
(3) 語学力 (TOEFL-IBT80, IELTS6.5以上)

#### 5. 感想

- ① 大学を終了した後、社会人となり、更に外国で学びたいという若者に感銘を受けました。
- ② 偏った国(何国とは言いませんが)からの留学生を受け入れるばかりではなく、海外で学ぶ日本人を重点的に支援すべき、と思いました。

### 米山記念奨学会部門 澤井会員

日本と世界を結ぶ架け橋とよく言われますが、国と国という部分だけではなく個人の人を応援するという事は大事なことだと思います。これまで約2万人の奨学生がおられるそうです。



2年間米山奨学生であったリンナさんから、近況のメールがありますので皆様にお知らせしたいと思います。